

一般質問



伊藤 昌宏 議員（自・未）

南大井地区小中一貫校
構想について

入ろうとする際、歩道周辺のスペースが狭く自転車や歩行者等のすれ違いが困難だ。歩道の拡幅と信号待ちスペースの確保を。②163号線拡幅事業では、都と連携し、渋滞解消策の推進や区役所駐車場へのスムーズな車両の誘導等を。③今後の情報端末機器の開発動向を踏まえつつ、当面は会議の開始時間の工夫などによる改善を検討していく。④検討すべき事項も多々あるため、他自治体の動向等を注視しつつ、調査研究を行っていく。

自治会活動に関する情報を提供してもらうなど、あらゆる機会を捉え周知していく。②各種防災訓練に関する支援・協力を進めるなど、引き続き取り組んでいく。③今後の情報端末機器の開発動向を踏まえつつ、当面は会議の開始時間の工夫などによる改善を検討していく。④検討すべき事項も多々あるため、他自治体の動向等を注視しつつ、調査研究を行っていく。

①社会福祉法人の地域貢献事業として高齢者施設等の飲食店スペースの提供を促すことと、食事の提供や学習支援を行う子どもの居場所づくりの場が拡大するのでは。②子どもの貧困実態の見える化の必要性をどのように考えているのか。③子どもの貧困の実態を調査で把握し、貧困対策に関する計画を策定しては。

に検討する中で、成功事例があれば参考にしていきたい。②品川歴史館で所蔵している昭和の生活用品をパッケージ化し、「資料貸出キットガイドブック」を作成した。今後は、グループホームで回想法事業を試行し、検証していく。

①（仮称）障害児者総合支援施設が新たな地域生活支援拠点としての役割を担うことになるが⑦新たなモデルとして話題になった「品川プロジェクト」とは何か。①区内の既存法人・施設との緊密な連携が不可欠では。②高齢障がい者の円滑なサービス利用を支援するためには、障がい者の相談支援専門員と高齢者のケアマネジャーの相互の制度への更なる理解と連携が有効では。③地域での福祉相談のワンストップ化を。④所管の枠を超えた全世代・全対象型地域包括支援体制の検討を。

①MTBIの啓発パンフレットを作成し、区民等へ周知・啓発を行っては。品川区保健所長 ①現在、啓発のためのパンフレット作成に向けて関係各課と検討を進めている。

町会・自治会支援について

①災害時における地域コミュニティが重要だという観点から、町会・自治会活動への加入を進めるべきと考えるが⑦町会・自治体活動の大切さを訴える資料等を作成しては。①区内不動産関係者と連携の強化を。②初期消火の重要性と共助の大切さが明確となったが、町会・自治会への指導等に更なる対処が必要では。③既に町会・自治会長に配布している情報端末を使い、区役所の会議に参加しないでも意見集約を行うシステムの構築を検討しては。④町会・自治会長から更なる支援拡充をとの声を聞くが、見解は。

①区内の社会福祉法人では、高齢者や障害者等を対象とした地域貢献事業を実施しており、子どもの居場所づくりをはじめとした新たな取り組みは難しいと考えている。②③現時点では実態把握に努めることとし、ひとり親家庭にアンケートを行い、支援ニーズの把握や見える化の研究を行うなど実態に沿った支援策を推進していく。

①国は平成28年度から、認知症カフェで交流しているボランティアが認知症の人の自宅を訪問する事業「認とも」をスタートさせる。区でも導入を検討しては。②品川歴史館の所蔵品を活用し、認知症の治療・予防に有効な回想法の早期導入を。

①撮影に協力した場合、エンドタイトルに「撮影協力品川区」と「わ！ながわ」のロゴマークを掲載するよう撮影サイドに要請しては。②品川区を舞台にした映像作品が多数存在する中、ロケが行われた情報をシティブロモーションについて

①MTBIの啓発パンフレットを作成し、区民等へ周知・啓発を行っては。品川区保健所長 ①現在、啓発のためのパンフレット作成に向けて関係各課と検討を進めている。

①MTBIの啓発パンフレットを作成し、区民等へ周知・啓発を行っては。品川区保健所長 ①現在、啓発のためのパンフレット作成に向けて関係各課と検討を進めている。

勝島地区再開発について

①都の計画や立地条件等を踏まえ、オリンピック開催に関連した各種整備や街並み活性化を進めるべきでは。②企業とも連携し、勝島地区の再開発構想等を検討すべきでは。都市環境部長 ①無電柱化やバリアフリー化に取り組むとともに、街並みの活性化についても検討する。②親水空間の整備や、産業と住環境の調和した土地利用等を進める。

①都の計画や立地条件等を踏まえ、オリンピック開催に関連した各種整備や街並み活性化を進めるべきでは。②企業とも連携し、勝島地区の再開発構想等を検討すべきでは。都市環境部長 ①無電柱化やバリアフリー化に取り組むとともに、街並みの活性化についても検討する。②親水空間の整備や、産業と住環境の調和した土地利用等を進める。

①都の計画や立地条件等を踏まえ、オリンピック開催に関連した各種整備や街並み活性化を進めるべきでは。②企業とも連携し、勝島地区の再開発構想等を検討すべきでは。都市環境部長 ①無電柱化やバリアフリー化に取り組むとともに、街並みの活性化についても検討する。②親水空間の整備や、産業と住環境の調和した土地利用等を進める。

①都の計画や立地条件等を踏まえ、オリンピック開催に関連した各種整備や街並み活性化を進めるべきでは。②企業とも連携し、勝島地区の再開発構想等を検討すべきでは。都市環境部長 ①無電柱化やバリアフリー化に取り組むとともに、街並みの活性化についても検討する。②親水空間の整備や、産業と住環境の調和した土地利用等を進める。

①都の計画や立地条件等を踏まえ、オリンピック開催に関連した各種整備や街並み活性化を進めるべきでは。②企業とも連携し、勝島地区の再開発構想等を検討すべきでは。都市環境部長 ①無電柱化やバリアフリー化に取り組むとともに、街並みの活性化についても検討する。②親水空間の整備や、産業と住環境の調和した土地利用等を進める。

補助163号線拡幅について

①補助26号線から区役所に

子どもの貧困対策について



あくつ広王 議員（公明）

①社会福祉法人の地域貢献事業として高齢者施設等の飲食店スペースの提供を促すことと、食事の提供や学習支援を行う子どもの居場所づくりの場が拡大するのでは。②子どもの貧困実態の見える化の必要性をどのように考えているのか。③子どもの貧困の実態を調査で把握し、貧困対策に関する計画を策定しては。

に検討する中で、成功事例があれば参考にしていきたい。②品川歴史館で所蔵している昭和の生活用品をパッケージ化し、「資料貸出キットガイドブック」を作成した。今後は、グループホームで回想法事業を試行し、検証していく。

①（仮称）障害児者総合支援施設が新たな地域生活支援拠点としての役割を担うことになるが⑦新たなモデルとして話題になった「品川プロジェクト」とは何か。①区内の既存法人・施設との緊密な連携が不可欠では。②高齢障がい者の円滑なサービス利用を支援するためには、障がい者の相談支援専門員と高齢者のケアマネジャーの相互の制度への更なる理解と連携が有効では。③地域での福祉相談のワンストップ化を。④所管の枠を超えた全世代・全対象型地域包括支援体制の検討を。

①MTBIの啓発パンフレットを作成し、区民等へ周知・啓発を行っては。品川区保健所長 ①現在、啓発のためのパンフレット作成に向けて関係各課と検討を進めている。



子どものアイデアを取り入れてリニューアルした東品川公園（東品川三丁目）